

「子どもたちの育ちを共有するために」

日頃より、当園の保育へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。  
今年度から連絡帳の代わりとして保育ドキュメンテーションを配信しておりますが、以前の連絡帳と比べると、「職員とのコミュニケーションが減ったように感じる」「自分の子どもが何をしていたのか分かりにくい」と不安を感じられる方もいらっしゃるかと思います。そこで、今月の「保育の広場」では、ドキュメンテーションの目的や見方、園として大切にしていることについてお伝えしたいと思います。

「自分の子どもが写っていない」

「今日はうちの子、写っていないな…」と感じることもあるかもしれません。  
ドキュメンテーションでは、その日の子どもたちの遊びや姿の中から、夢中になっていることや学びにつながる姿をお伝えしています。  
そのため、場面によって写る子どもに偏りが出ることがありますが、写真に写っていない時にも、それぞれが遊びや友達との関わりの中で、たくさんの経験を重ねています。  
また、同じ年代の子どもたちが今どんなことに興味をもち、どのように育ち合っているのかを感じていただけたらと思っています。  
「誰が写っているかな?」だけでなく、「どんなことをしていたのかな?」という視点でも、園全体の育ちを一緒に楽しんでいただけたら嬉しく思います。



「子どもになんて言葉をかけたらいい?」「子どもが話してくれないんだけど…」

ドキュメンテーションは、ぜひお子さまと一緒に見てみてください。  
「楽しそうだね」「何してるのかな?」「お友達と一緒にだったんだね」など、写真を見ながら気軽に声をかけてもらえたらと思います。子どもたちは、写真を見ながらその時のことを思い出し、「これやった!」「楽しかった!」と話してくれることもあれば、指をさしたり、嬉しそうな表情を見せたりしながら気持ちを伝えてくれることもあります。  
中には、「どうだった?」と聞かれても、「忘れた」「別に~」と、あまり話してくれないお子さまもいるかもしれません。でも、言葉にしなくても、写真を見ながら楽しかった気持ちを思い出していることもあります。  
「ちゃんと聞き出さなきゃ」と思わなくても大丈夫です。おうちの方と一緒に見てもらうことで、「見てもらえた」「分かってもらえた」という安心感にもつながっていきます。ぜひ、お子さまと一緒に楽しみながら見ていただけたら嬉しいです。



「連絡帳がなくなって、先生とコミュニケーションが取りづらくなった」

これまで連絡帳でやり取りをしていた分、少し不安に感じられることもあるかもしれません。  
ドキュメンテーションは「みんなの育ちの記録」ですが、お子さま一人おひとりの日々の体調や個別のエピソードをお伝えしていくことはこれまで通り、あるいはそれ以上に大切にしていきたいと考えています。  
送迎時のちょっとしたおしゃべりを通じて、担任をはじめ職員全体で丁寧に関わらせていただきます。  
気になることや心配なことがありましたら、いつでも気軽に職員にお声がけくださいね。



那珂こども園では、子どもたちの「やってみたい」「おもしろそう」という気持ちを大切にしながら、遊びや生活を広げていく保育を行っています。

これは、子どもたちが「ただ自由に好きなことだけをして過ごす」のとは違います。一人ひとりの思いや興味・関心を出発点に、保育者が丁寧に関わり、あそびの空間を整えながら、経験や学びが深まっていくよう支えています。

保育者は、子どもたちの姿を見守るだけではなく、「どんな経験につながるだろう」「どうすればもっと楽しめるだろう」と考えながら、必要な手助けをしたり、おもちゃや空間の配置を工夫したりしています。  
そうした日々の育ちや学びの過程を、ドキュメンテーションを通して保護者の皆さまと共有し、子どもたちの成長を一緒に感じていけたらと思っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。